

令和元年 7 月 1 1 日
西部農林振興センター 県央事務所 農業普及部

標 題	高校生が語る農業の身近な問題や将来問題についての抱負や意見 ～島根県学校農業クラブ連盟意見発表県大会～
-----	--

(ダイジェスト)

7月10日、邑南町矢上交流センターにおいて、島根県学校農業クラブ連盟意見発表県大会が開催され、県内5校の生徒により、3つの分野で計15名の発表がありました。

自営就農にあたっての不安要素とそれを解決するための手法、幼い頃の収穫体験が貴重な存在など、後継者の確保や育成に参考となる意見であり、内容はもちろん、発表のしかたなど毎年レベルアップしており、心に響く大会でした。

島根県学校農業クラブ主催により、7月10日（水）、邑南町矢上交流センターにおいて、意見発表県大会が開催されました。

意見発表会は、クラブ員の身近な問題や将来問題について抱負や意見を交換し、問題解決のための自主的・積極的な態度と能力を養うとともに、クラブ員の親睦と連携を深めることを目的とし、3つの発表分野（Ⅰ類：生産・流通・経営、Ⅱ類：開発・保全・創造、Ⅲ類：ヒューマンサービス）に分かれて、各分野とも5校（松江農林、出雲農林、邇摩、矢上、益田翔陽高校）より各1名の発表がありました。

発表内容の中には、

- ・卒業後すぐに就農するには、2つの不安要素（経済面、ビジネス経験）があり、躊躇している。
- ・幼い頃の収穫体験が今では貴重な存在。
- ・日々消費している食品は動物や植物の命をいただいていることを大切にしたい。

など、新鮮な意見や夢を発表する態度は、聞き手にわかりやすく、素晴らしいものでした。

各分野の最優秀賞者は、中国ブロック大会で島根県代表者として発表されます。



(最優秀賞)

- | | |
|----------------------|-------------|
| Ⅰ類：「私の力で、デラウエアを守りたい」 | 出雲農林高校 2 年生 |
| Ⅱ類：「娘としてできること」 | 出雲農林高校 3 年生 |
| Ⅲ類：「生産者として消費者として」 | 出雲農林高校 3 年生 |